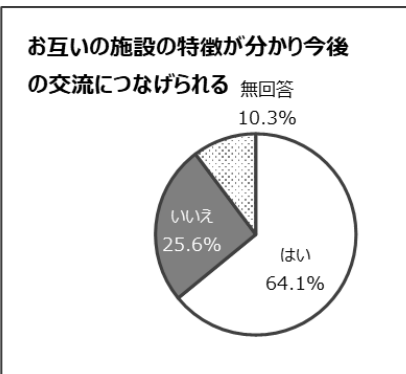
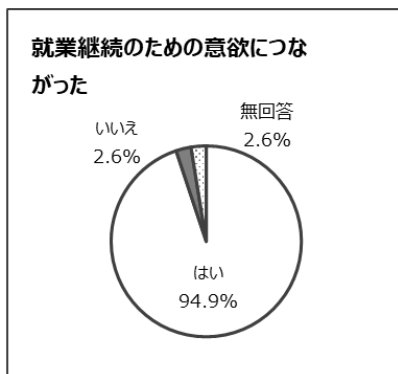
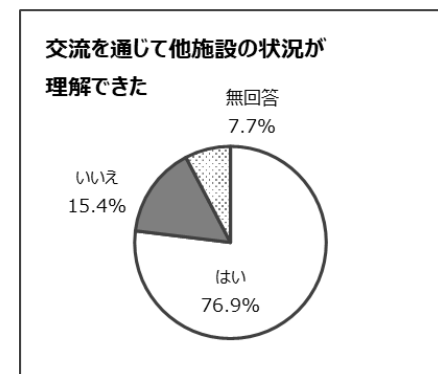
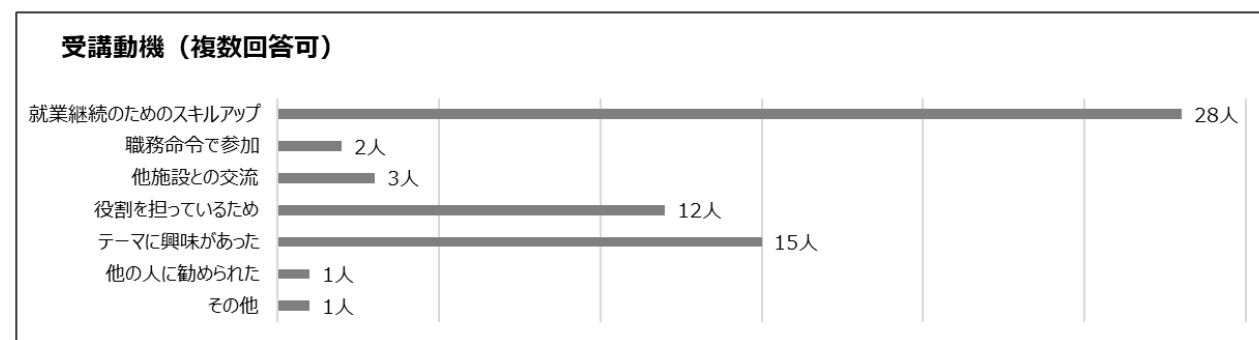
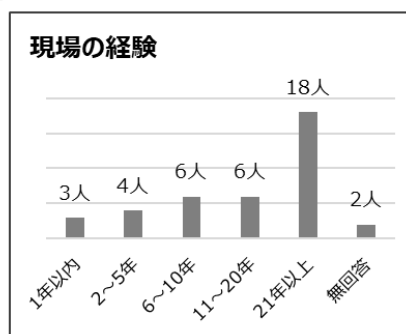
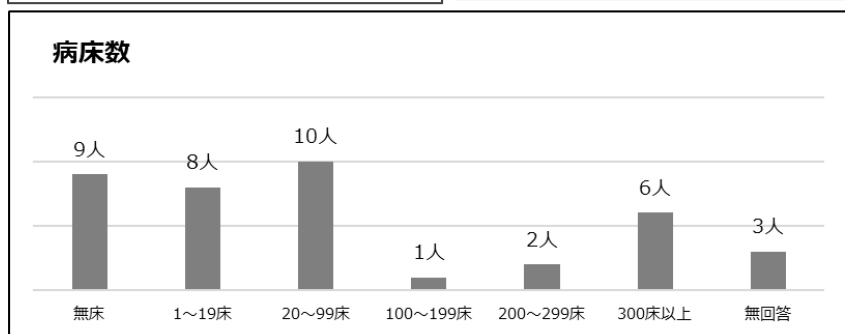
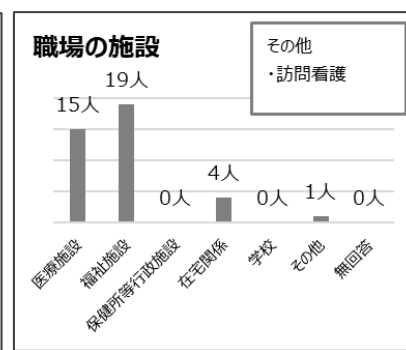
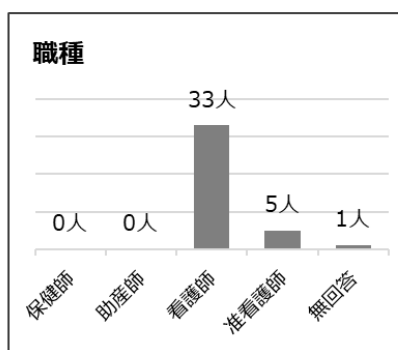
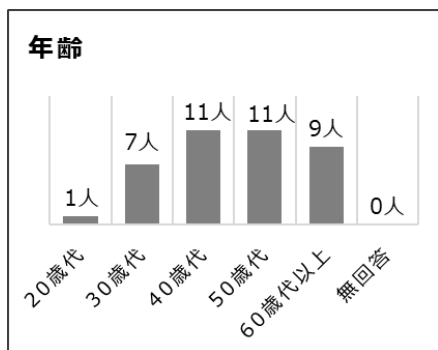


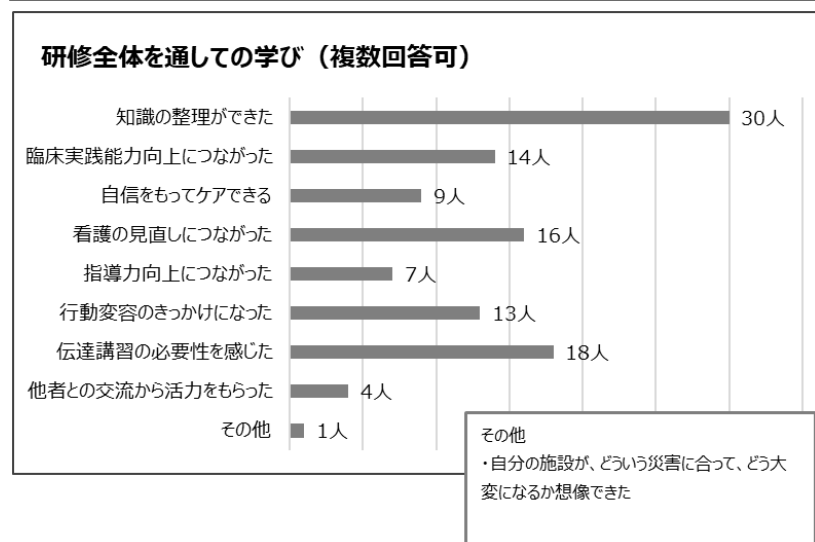
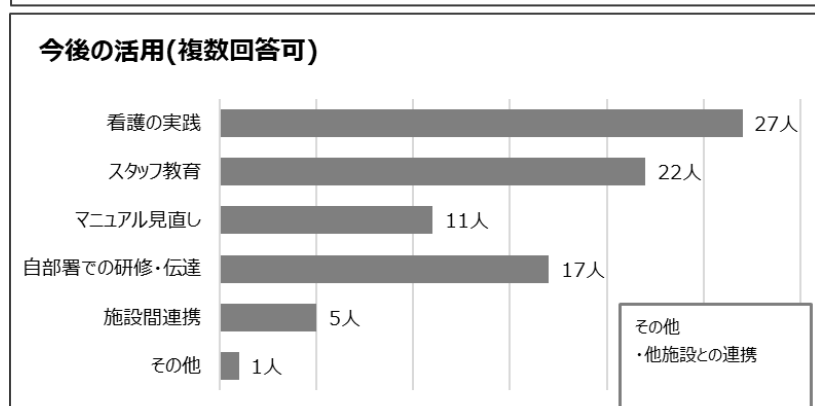
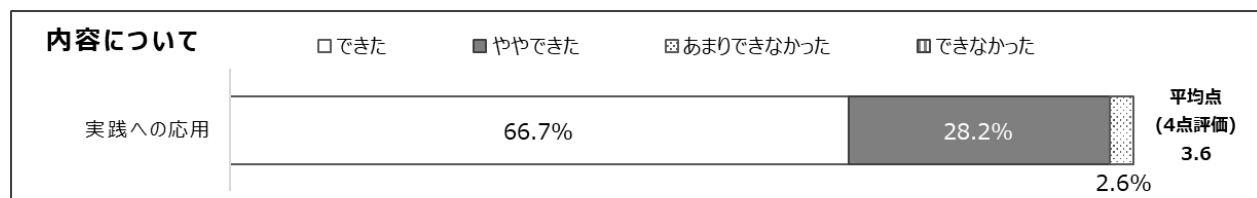
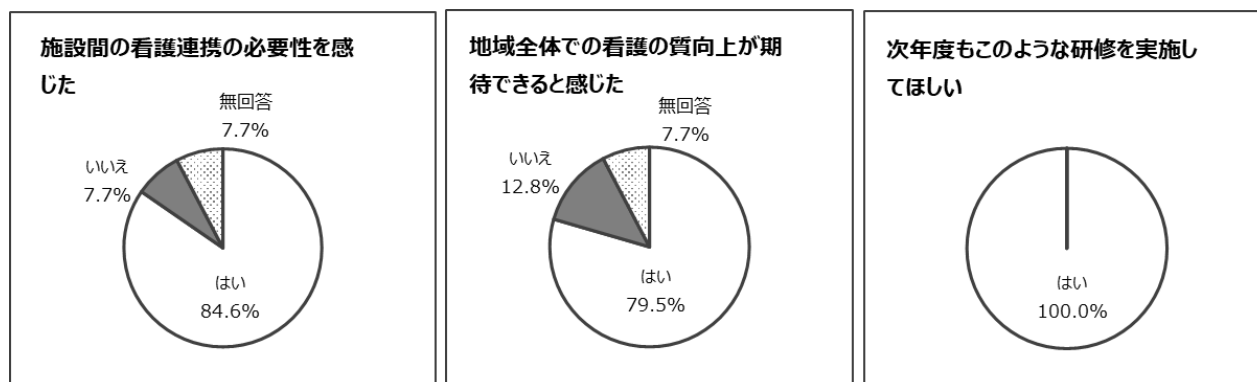
福祉施設・医療施設等に働く看護職員研修・交流会

目的：福祉施設・医療施設等に働く看護職員の交流を通じて、勤務する施設外における仲間づくり、ネットワーク化を図ることで離職防止につなげる。

() うち、しま WEB

開催日	研修内容	受講者数	会場
6/29 (土)	災害対策	10 名 (2 名)	看護キャリア支援センター
7/27 (土)	看取り	12 名 (1 名)	ながさき看護センター
12/16 (土)	摂食・嚥下	19 名 (4 名)	看護キャリア支援センター





	会場	しまWEB	計
受講者数	34人	7人	41人
回答者数	32人	7人	39人
回答率	94.1%	100.0%	95.1%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

所属施設 地区別

	病院	クリニック	福祉施設	学校	その他	計
県央			7			7
県南			4			4
県北	9	2	12			23
離島		5	2			7
計	9	7	25	0	0	41

<評価>

受講後アンケートを実施し、アンケート回答数 39 名（95%）

1, 研修受講動機について

「自己のスキルアップ」を目的として参加している人が一番多く 28 名（72%）だった。「テーマに興味があった」人は 15 名（38%）「自己の役割を果たすため」が 15 名（38%）と参加者は意欲を持って参加していた。

2, 施設間交流について

1.2 回目の研修では研修の中でグループワークがあった。3 回目は演習の時間が短かったためか、「交流ができた」と答えた人が少なかった。全体的には 30 名（77%）の人は交流ができたと評価した。

3, 研修受講後の今度の活用について

「研修の学びを看護の実践に役に立てたい」と回答した人は 27 名（69%）「スタッフ教育」と回答した人 22 名（56%）「自部署での研修・伝達」と回答した人は 17 名（44%）と多かった。受講者の多くが福祉施設で、実践に沿った内容だったのでこのような回答になったと考える。

4, 研修全体を通しての学びについて

「知識の整理ができた」と回答した人が 30 名（77%）、「看護の見直しに繋がった」と回答した人が 18 名（46%）、「伝達講習の必要性を感じた」と回答した人が 16 名（41%）、「臨床実践能力向上につながった」と回答した人は 14 名（36%）、「行動変容のきっかけになった」と回答した人が 13 名（33%）だった。受講動機が「自己のスキルアップ」の参加者が多かった。そこで研修が知識の整理ができたと感じたのではないかと考える。

受講者が多かった 3 回目の「高齢者における誤嚥性肺炎予防」は受講後「臨床実践能力向上につながった」と回答した人はアンケート回答 18 名中 11 名（61%）と多く、他の研修では回答が少なかった「自信をもってケアできる」と回答した人は 8 名（44%）だった。この研修は講義と具体的な看護技術の実践と交えた演習があったので、このように回答した人が多いと考える。

なお、本研修は、今年度で終了となる。